

# 平和運動フォーラム石狩地域協議会

平和運動フォーラム  
石狩地域協議会

〒060-0806  
札幌市北区北6西7

村上 真仁

TEL:011-747-1880

## 大飯原発再稼働問題

# 原発ありきの政策にNO!

## 緊急抗議集会で怒り

政府が6月16日、関西電力大飯原発再稼働を決定したことを受け、6月18日、「脱原発・クリーンエネルギー市民の会」は緊急の全道抗議集会を大通公園西8丁目広場で開催、約300名が集まった。

集会冒頭、主催者を代表して同会の船橋奈穂美代表は「3・11から1年3ヶ月、この間本当に悪夢を見ていたようであっ

た。5月5日にすべての原発が止まった際、少し悪夢から逃れられると期待していた。しかしあまりに早く、再稼働に舵が切られ、原発ありきの姿勢を崩さない政治家、電力会社、推進派の市民

に対し本当に情けなく思う。先日の野田首相の会見は、怒りとともに情けなさが見え、一豊かで人間

らしい生活を守る」といったが、人間らしい生活とは放射能に怯えながら被爆しながら暮らすことなのか? どうすれば原発を止められるのか

答えは見えないが、彼らが諦めが悪いのなら、自分たちもあきらめずに原発を訴え続ける。北海道の地から、みんなで、原発はもうやめろ! 目を覚ませ! と訴えたい」とあいさつし



抗議集會に多くの参加者が集まった再稼働阻止! 市民にアピールするデモ隊

## 連帯のあいさつ

野田首相は大飯原発の再稼働を正式に認めた。全国では民主党政権への怒り、不信が大きく広がっている。



市民ネットワーク北海道 伊藤共同代表

電力会社、経済界、原子力ムラを守るための再稼働であり、国民を欺く裏切り行為である。今福島では、15万人以上の人がふるさとを追われ、避難生活をよぎなくされている。放射能汚染を恐れながら、子供たちの健康を思い、不安におののいている多くの母親たちへの責任はほとんどない。福

島原発事故は、経済性を最優先させて、原発の安全神話を加速させた。首相は、福島事故の教訓を思い起こし、再稼働を即断断念と、原発依存ではなく原発ゼロ社会への転換やエネルギービジョンをしっかりと示すべき。今こそ市民の力を結集し、原発再稼働を止め、再生可能エネルギー社会の

た。続いて北海道平和運動フォーラム長田事務局長から、首相が再稼働を容認する根拠としたのは、現地福井県知事などの求めに応じて、原子力安全保安院がたった2日間で決定した新しい安全基準である。実現に向け、運動を進める。



北海道平和フォーラム道北ブロック 藤川事務局長

幌延町の施設は、北海道、地元、核燃機構が三者間協定を締結したが、この協定は放射

り、その内容は、昨年原発事故直後に、各電力会社が使用した、緊急安全対策や安全評価の1次評価で審査した内容を整理したものに基づき、大飯原発では、対策85項目中31項目が未実施となっている。

性廃棄物は持ち込まず、処分方法を研究するのみとされた。地元では経済活性化のために誘致を受け入れる動きがある。これまで、地域住民もまったくデモに関心を示さなかったが、昨年から認識が変わっていると感じている。資源エネルギー庁で最終処分地選定に向けた調査が行われ。北海道はどこ

こうした政府の再稼働ありきの姿勢は、崩壊した安全神話への逆戻りで、断じて容認できないと厳しく批判した。その後連帯挨拶、アピール提案を行い、参加者はデモ行進で脱原発を訴えた。

でも適地とされている。決して原発再稼働を許さず、使用済核燃料をこれ以上増やさないと訴えていく。

○事務局だより○  
「責任」とは重い言葉です。本当に責任が取れる立場なら、しっかりとその意味を考えてほしいものです。(む)